



ともに生き ともに創る 彩りのまち調布

令和6年(2024年) 3/5
No.1758

市報

ちようふ

発行：調布市（毎月5日・20日発行）所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1
編集：行政経営部広報課 市ホームページ：<https://www.city.chofu.lg.jp/>

市役所代表：☎042-481-7111

CONTENTS(主な内容)

- 調布ヶ丘地域福祉センターが
リニューアルオープン……………4
- 平和祈念事業……………4
- 読売ジャイアンツの選手が調布市広報大使に就任……………7
- 3・4月の市民課窓口は大変混みあいます……………12

市報ちようふの配布に関する問い合わせ
市報ちようふ配布コールセンター(配布受託業者(株)小平広告)
☎042-300-3131

JAXA 調布航空宇宙センター展示室

調布 魅力再発見

子どもも大人も! 調布で見て、学んで、楽しもう



市内には、子どもも大人も気軽に楽しく学べるスポットや、貴重な体験ができる魅力的なスポットがたくさんあります。
今回は、その一部を紹介します。春休みなどに行ってみてはいかがでしょうか。

詳細は2・3面をご覧ください →

手をつなぐ樹 438



若いゆえの

同世代の友人と久しぶりに会った。彼の日常生活はすでに悠々自適。趣味や健康維持のための活動を活発に行っており、充実した日々を過ごしているように見受けられる。

「うらやましい生活ぶりだな」と言うと、「いや、いざ時間ができると思っただけで、はいかないものだ」。

そんなものなのかなと思いつつ、やはり自分の余生について考えを巡らせてしまう。そして行く末に思いを寄せるとき、自然に来し方にも話が及ぶ。

「我々は、まずまずいい時代を生きたと言えるのかな」と水を向けると、「それは間違いない。何とんでもない世代と違い、あの悲惨な戦争を体験していない。そして青春時代には、高度経済成長の熱気の中で国力の大きい伸張を信じて疑わなかった」。

そんな会話が進むうちに、彼が妙なことを言う。「忙しかったがすごく充実していた。自分でもよく働いたと思う。ただ、今思い起こしても不思議に思うことがある。繁忙度が極めて高い、いわゆるハイの状態の時に、折不意に何もかもがふっと虚しくなるような、たとえて言えば車のギアがニュートラルのまま急に入らなくなってしまうようなことがあった。あれは一体何だったのかな」。

調布市表

友友貴樹

(註) Automatic Train Control 自動列車制御装置。